



# 2023年 環境経営レポート



協和工業株式会社



®環境省

エコアクション21

認証登録番号0000168

KYOWA

本社工場、町田工場、大桑事業所  
対象期間 2023年4月～2024年3月  
発行日 2024年4月5日

1/18

## 目次

1. 環境経営方針
2. 環境経営システム組織図
3. 事業の概要
4. 環境目標とその実績 (全体)
5. 環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況及びその評価結果 (本社、町田)
6. 次年度環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況 (本社、町田)
7. 環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況及びその評価結果 (大桑事業所)
8. 次年度環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況 (大桑事業所)
9. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無
10. 代表者による全体の見直しと評価

## ミクロンへの限らない挑戦 精度を極めた協和工業 加工部品







# 1.環境経営方針

## 基本方針

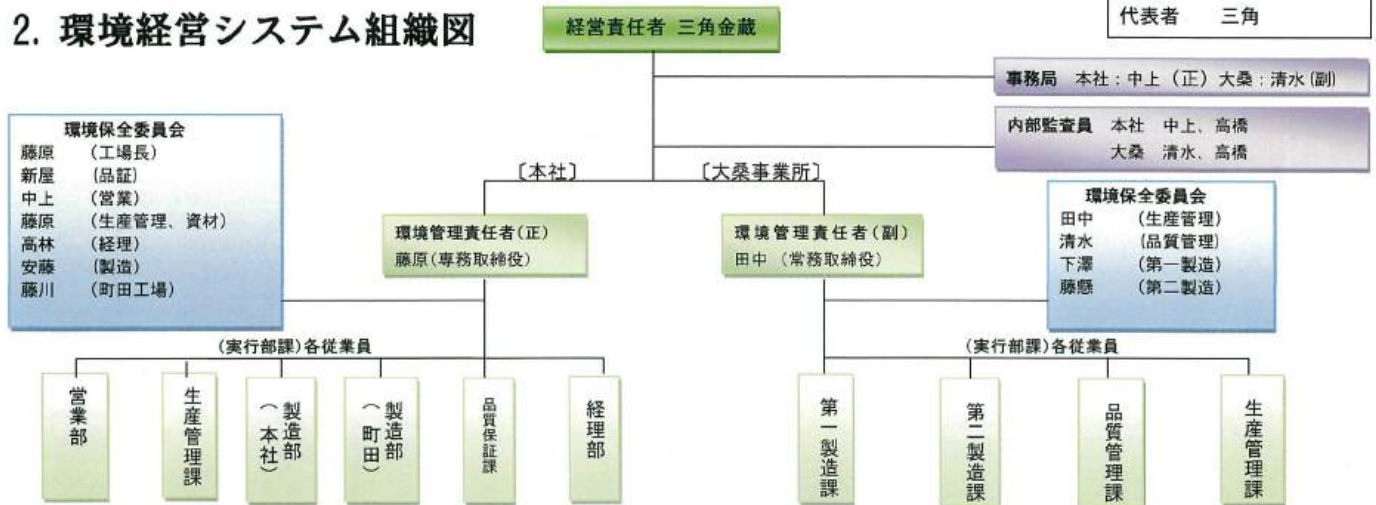
私たちは、地球環境の保全が最重要課題の一つであることを認識し、全ての事業活動において環境問題を重点課題とし、環境に配慮した製品及びサービスを提供し環境負荷の低減に努めます。

## 行動方針

- 環境経営活動において、製品及びサービスが環境に与える影響を常に認識し、環境汚染の防止を推進すると共に環境経営の継続的改善を誓約する。
- 環境関連の法律、規制、その他の要求事項を遵守し、環境保全に努める。
- 全ての部門で業務の効率化と無駄の排除を行い、二酸化炭素排出量、廃棄物、排水量、化学物質使用量などの削減及びグリーン購入、調達を努める。
- この方針は文書化し関係従業員に周知徹底すると共に、広く一般に開示します。

改訂日 2023年1月6日  
改訂日 2022年1月7日  
改訂日 2018年1月8日  
制定日 2004年10月1日  
代表者 三角

## 2. 環境経営システム組織図



## 3. 事業の概要

### (1) 協和工業株式会社

代表取締役 三角金蔵

本社住所：神奈川県川崎市麻生区下麻生 2-4-15  
町田工場住所：東京都町田市野津田町 280 番地  
大桑事業所住所：長野県木曾郡大桑村殿中尾平 35-35



### (2) 環境経営保全関係の責任者及び担当者連絡先

責任者 専務取締役 (正) 藤原 (本社)  
責任者 常務取締役 (副) 田中 (大桑事業所)

担当者 営業係長 (正) 中上 (本社)  
☆連絡先 TEL:044-988-1462 FAX:044-988-1391  
担当者 品質保証 (副) 清水 (大桑事業所)  
☆連絡先 TEL:0264-55-3511 FAX:0264-55-4117

☆ホームページ <https://www.kyowakogyo.co.jp>

☆E-mail [honsya@kyowakogyo.co.jp](mailto:honsya@kyowakogyo.co.jp)

### (3) 事業所の規模及び活動 認証登録

1965年 2月 1日設立 現在従業員数 131人 (全体)  
・本社工場 敷地の総面積 900㎡、建屋面積 850㎡  
・大桑事業所 敷地の総面積 13,990㎡、建屋面積 3,600㎡  
・町田工場 敷地の総面積 585㎡、建屋面積 579㎡

認証登録のサイト及び活動  
上記3工場の会社組織にて活動中。2022年より3年計画でEA21環境マネジメントシステムを取り組んでいます。

### (4) 事業内容

- 金属加工部品（車載用部品、産業機器部品等）の製造
  - 精密シャフト部品の製造
- 対象とする製品  
車載用部品、産業機器部品、精密シャフト部品  
ベアリング関連部品、電気機構部品、その他

### (5) 事業の規模活動規模

〔協和工業株 全体〕

活動規模	単位	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年
主要製品生産量	t	27,158	27,433	21,947	22,430	26,360	25,857
従業員数	人	144人(町田工場含む)	144人(町田工場含む)	140人(町田工場含む)	140人(町田工場含む)	140人(町田工場含む)	131人(町田工場含む)
事業所敷地の面積	㎡	15,475	15,475	15,475	15,475	15,475	15,475
主要製品生産本数	百万本	1,438	1,440	1,152	1,175	1,245	1,220





# 環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況 (全体)

当社については、本社、町田工場、大桑は2021年の実績により、3年計画で目標を掲げて環境活動の取り組みを開始した。

廃棄物排出量、水の排水量、二酸化炭素排出量、化学物質使用量の実績は以下の通りである。

③二酸化炭素排出量は、原単位と排出量を表示しています。

<環境目標と実績> 町田工場 2016年より活動開始(値は本社、町田工場合算値)

<担当部門及び責任者>



No.	項目	原単位	基準年度 (合計実績)	2022年度 (2022年基準値)	2023年度 (2023年基準値)	2024年度 (2024年基準値)
①	廃棄物排出量	t / 億円 (加工高)	2021年度 実績 (本社、町田、大桑)	目標 28.73 (2%減)	目標 24.35 (2%減)	目標 23.86 (4%減)
			合計 29.32	実績 24.85 (14%減)	実績 <b>22.69</b> (6.8%減)	実績
②	水の排水量	t / 億円 (加工高)	2021年度 実績 (本社、町田、大桑)	目標 1,558 (2%減)	目標 2,467 (2%減)	目標 2,416 (4%減)
			合計 1,590	実績 2,517 (62%増)	実績 <b>2,306</b> (6.5%減)	実績
③	二酸化炭素排出量  <排出係数> 本社、町田 0.423 (Kg-CO2/kWh) (2021年係数)  大桑 0.433 (Kg-CO2/kWh) (2022年係数)	Kg-CO2 / 億円 (加工高)	2021年度 実績 (本社、町田、大桑)	目標 301,816 (2%減)	目標 267,605 (2%減)	目標 262,143 (4%減)
			合計 307,772	実績 273,056 (10%減)	実績 <b>251,545</b> (6.0%減)	実績
			排出量 Kg-CO2 ※原単位 無し	2021年度 実績 (本社、町田、大桑)	目標 1,687,433 (2%減)	目標 1,503,349 (2%減)
④	化学物質 使用量	t / 億円 (加工高)	2021年度 実績 (本社、町田、大桑)	目標 8.12 (2%減)	目標 7.964 (2%減)	目標 9.04 (2023年基準に 変更)
			合計 8.28	実績 8.12 (0.1%減)	実績 <b>9.235</b> (16.0%増)	実績

No.	目標項目	主担当部門	責任者
本 社 / 町 田 工 場	① 廃棄物排出量の削減 (廃棄物、廃液排出量削減)	生産管理、資材、品質保証 営業事務管理、 経理 製造(本社、町田)	藤原工場長、中上係長 新屋係長、藤原係長、 高林部長 藤川工場長
	② 水の排水量の削減 (ムダを無くす)	"	"
	③ 二酸化炭素排出量の削減 (ムダを無くす)	"	"
	④ 化学物質使用量の削減 (ムダを無くす)	"	"
	⑤ 製品、サービスに関する環 境の配慮 (環境負荷物質 の管理) ムダを無くす	"	"
大 桑 事 業 所	① 廃棄物排出量の削減 (廃棄物、廃液排出量削減)	第一製造部門、第二製造部門 生産管理部門、品質管理部門	下澤課長、藤懸課長 田中工場長、清水部長
	② 水の排水量の (ムダを無くす)	"	"
	③ 二酸化炭素排出量の削減 (ムダを無くす)	"	"
	④ 化学物質使用量の削減 (ムダを無くす)	"	"
	⑤ グリーン購入 (エコ製品の購入量)	"	"
	⑥ 製品、サービスに関する環 境の配慮 (環境負荷物質 の管理) ムダを無くす	"	"

# 環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況(本社、町田工場) 5/18

2023年度目標	取組み計画		活動内容 / 評価(結果と今後の方針)	◎数値(累計) / 取組み活動:ともに達成、○数値のみ達成、△取組み活動のみ達成、 ×数値(累計) / 取組み活動:共に未達成		実績/結果 及び反省点	判定
	目標設定手段	責任者		実績/結果	反省点		
廃棄物排出量の削減  2022年度実績 1.24t/億  2023年度目標値 1.19t/億 (2%減)	①製造・本社 不具合品削減 ②製造・町田 不具合品削減 ③生産管理 仕掛数適正化	藤原(本) 藤川 藤原(理)	①NG加工品ミーティング週1回程度 ②品質生産性向上の個別ミーティング ③本社大桑定例先行会議 月1回	実績/結果 2023年 廃棄物排出量の削減 (基準 2022年1.24t/億) 目標 1.19t/億 2%減 → 実績 1.46t/億 22.7%増	8月に排水設備のビット清掃を行い、汚泥を廃棄したため想定外の排出量が発生した。 取り組みの見直しと次年度への取り組み 今後は毎年ビット清掃を計画しているので、汚泥の排出量を確認し計画に組み込めるようにしたい。	△	
水の排水量の削減 (使用量)  2022年度実績 115.0t/億  2023年度目標値 112.7t/億 (2%減)	①製造・本社 バレル洗浄工程見直し	藤原(本)	①バレル工程の時間短縮テスト	実績/結果 2023年 水の排水量の削減 (基準 2022年115.0t/億) 目標 112.7t/億 2%減 → 実績 123.8t/億 9.8%増	10月以降の受注減少の際にバレル工程の比率が大きくなり売上あたりの水の使用量が増加してしまった。 取り組みの見直しと次年度への取り組み 同じ売り上げ構成でも水の使用量を削減できるような提案を出し合う必要がある	△	



環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況(本社、町田工場) 6/18

2023年度目標	取組み計画			活動内容 / 評価(結果と今後の方針)	◎数値(累計)/取組み活動:ともに達成、○数値のみ達成、△取組み活動のみ達成 ×数値(累計)/取組活動:共に未達成		判定
	課	内容	責任者		実績/結果 及び反省点		
二酸化炭素排出量の削減 2022年度実績 15,214Kg-CO2/億 2023年度目標値 14,909Kg-CO2/億 (2%減)	①製造・町田 ②生産管理 ③品質保証 ④総務	生産性向上 残業休出削減 客先不具合流出防止 照明LED化	藤川 藤原(兼) 新塚 高林	①各作業者の能動的な改善活動 ②外観検査他の多能工化 ③カット工程品質の作業者別提起 ④現場照明のLED化完了  評価と今後の方針 ①個人別改善活動の継続 ②さらなる多能工化の検討 ③客先NG流出の件数増加対策が必要 ④新たな改善課題の検討	実績/結果 Kg-CO2/億円 2023年 二酸化炭素排出量の削減 (基準 2022年 15,214Kg-CO2/億)  目標 14,909Kg-CO2/億 2%減 → 実績 12,990Kg-CO2/億 12.9%減	◎	
化学物質使用量の削減 2022年度実績 0.170t/億 2023年度目標値 0.167t/億 (2%減)	①製造・本社	新しい研削液テスト	藤原(兼)	①モレスコ製研削液の検証と運用開始  評価と今後の方針 ①現行の研削液をモレスコに移行できれば年間20~30万円の費用削減が見込める	実績/効果 化学物質t/億円 2023年 化学物質使用量の削減 (基準 2022年0.170t/億)  目標0.167t/億 2%減 → 実績 0.255t/億 52.7%増	△	

環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況(本社、町田工場) 7/18

2023年度目標	取組み計画			活動内容 / 評価(結果と今後の方針)	◎数値(累計)/取組み活動:ともに達成、○数値のみ達成、△取組み活動のみ達成、×数値(累計)/取組活動:共に未達成 (◎3S手順完了、○定期3S活動実施、×3S活動無)		判定
	課	内容	責任者		実績/結果 及び反省点		
グリーン購入 2022年度実績 91件 2023年度目標値 100件	①総務 ②営業 ③資材	グリーン購入推進 グリーン購入推進 グリーン購入推進	高林 藤原 藤原(兼)	エコ商品の購入  評価と今後の方針、反省点 エコ商品のバリエーションは頭打ちになっている	実績/結果 目標 エコ製品 100件購入 実績 エコ製品 93件購入	△	
製品、サービスに関する環境配慮 2022年度実績 132件 2023年度目標値 140件	①改善委員会	改善活動継続実施	社長 藤原隆 安藤 佐藤力 夏井	・事務所の改善活動のとりまとめ ・品質保証部門の改善活動とりまとめ ・検査作業員の改善活動とりまとめ ・製造部門の改善活動とりまとめ  評価と今後の方針 社長指導により、継続活動と並行して新しい改善案件を実行している	実績/結果 改善目標 件数 80件/年(本社) 60件/年(町田) 改善件数 (本社) 114件 (町田) 60件  反省点 改善の完了件数は昨年より減少しているが、継続案件が増えて内容としては充実の傾向にあると感じられる。  取り組みの見直しと次年度への取り組み また改善効果を数値化できる案件が少ないので、費用対効果が算出できる具体的な改善活動を増やしていきたい	◎	
3S活 (整理、整頓、清掃)	①3S委員会	3S活動継続実施	新野 中上 夏井 柿沼 安藤	①月一回の3S改善会議実施 ②事務所の机上整理推進 ③現場加工機械の清掃・点検活動 ④研削液、洗浄液、ハルチップなどの削減管理 ⑤社内3S項目のとりまとめ・進捗管理  評価と今後の方針 ①毎月第一水曜日の会議実施継続 ②事務所に新たな棚の設置 ③砥石交換時の機械清掃の実施 ④ミクロカット・アンチラストの使用量削減	実績/結果 月一回の3S会議実施と進捗管理のとりまとめ継続中  反省点 3S活動と改善活動の重複した内容が出てくることも多くなってきた。  取り組みの見直しと次年度への取り組み 継続している活動の点検と新たな3S活動項目を考える必要がある。		

6. 次年度環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況(本社、町田工場) 8/18

2024年度目標	取組み計画		活動内容 / 評価(結果と今後の方針)	◎数値(累計) / 取組み活動 ともに達成、 ○数値のみ達成、 △取組み活動のみ達成、 ×数値(累計) / 取組活動 共に未達成		判定
	目標設定手段	責任者		実績 / 結果 及び反省点		
2023年度実績	課	内容				
<b>廃棄物排出量の削減</b> ①製造・本社 不具合品削減 ②製造・町田 不具合品削減 ③生産管理 仕掛数適正化 2023年度実績 1.80t/億 2024年度目標値 1.76t/億 (2%減)			計画 中 計画 中 計画 中 評価と今後の方針	実績 / 結果 2024年 廃棄物排出量の削減 (基準 2023年1.80t/億) 目標1.76t/億 2%減 → 実績	反省点 取り組みの見直しと次年度への取り組み	
<b>水の排水量の削減 (使用量)</b> ①製造・本社 ハレカ・洗浄工程見直し 2023年度実績 123.0t/億 2024年度目標値 120.5t/億 (2%減)			計画 中 評価と今後の方針	実績 / 結果 2024年 水の排水量の削減 (基準 2023年 123t/億) 目標120.5t / 億 2%減 → 実績	反省点 取り組みの見直しと次年度への取り組み	

6. 次年度環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況(本社、町田工場) 9/18

2024年度目標	取組み計画		活動内容 / 評価(結果と今後の方針)	◎数値(累計) / 取組み活動 ともに達成、 ○数値のみ達成、 △取組み活動のみ達成、 ×数値(累計) / 取組活動 共に未達成		判定
	目標設定手段	責任者		実績 / 結果 及び反省点		
2023年度実績	課	内容				
<b>二酸化炭素排出量の削減</b> ①製造・町田 生産性向上 ②生産管理 残業休出削減 ③品質保証 客先不具合流出防止 ④経理 照明LED化 2023年度実績 16.477Kg-CO2/億 2024年度目標値 16.118Kg-CO2/億 (2%減)			計画 中 計画 中 計画 中 計画 中 評価と今後の方針	実績 / 結果 2024年 二酸化炭素排出量の削減 (基準 2023年 16.477Kg-CO2/億) 目標 16.118Kg-CO2/億 2%減 → 実績	反省点 取り組みの見直しと次年度への取り組み	
<b>化学物質使用量削減</b> ①製造・本社 洗浄液・防錆剤削減 ②製造・本社 新しい研削液テスト 2023年度実績 254.6kg/億 2024年度目標値 249.5kg/億 (2%減)			計画 中 計画 中 評価と今後の方針	実績 / 効果 2024年 化学物質使用量の削減 (基準 2023年254.6Kg/億) 目標249.5Kg/億 2%減 → 実績	反省点 取り組みの見直しと次年度への取り組み	



6. 次年度環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況 (本社、町田工場)

10/18

2024年度目標	取組み計画			活動内容 / 評価 (結果と今後の方針)	◎数値(累計) / 取組み活動:ともに達成、○数値のみ達成、△取組み活動のみ達成、×数値(累計) / 取組活動:共に未達成 (◎3S手続完了、○定期3S活動実施、×3S活動無)		判定
	課	目標設定手段 内容	責任者		実績 / 結果	及び反省点	
グリーン購入 2023年度実績 93件 2024年度目標値 100件	①経理 ②営業 ③資材	グリーン購入推進 グリーン購入推進 グリーン購入推進	高林 藤原(重) 藤原(隆)	エコ商品の購入  評価と今後の方針、反省点	実績 / 結果 目標 エコ製品 100件購入 実績 エコ製品		
製品、サービスに関する環境配慮 2023年度実績 174件 2024年度目標値 提案180件	①改善委員会	改善活動継続実施	社長 藤原(重) 藤川 新屋 藤原(隆) 夏井 安藤	計画中 計画中 計画中 計画中 計画中 計画中	実績 / 結果 改善目標 件数 114件/年(本社) 60件/年(町田) 改善件数 0件/年		
3S活 (整理、整頓、清掃)	13S委員会	3S活動継続実施	社長 新野 中上 夏井 柿沼 安藤 藤原隆	3S改善会議実施継続  評価と今後の方針	実績 / 結果  反省点		

環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況 (大桑事業所)

11/18

2023年度目標	取組み計画			活動内容 / 評価 (結果と今後の方針)	◎数値(累計) / 取組み活動:ともに達成、○数値のみ達成、△取組み活動のみ達成、×数値(累計) / 取組活動:共に未達成		判定
	課	目標設定手段 内容	責任者		実績 / 結果	及び反省点	
廃棄物排出量の削減  2023年度目標値 23.1t/億 (2%減)	第一製造 第一製造 第一製造 第二製造 第二製造 第二製造 品質管理 品質管理 生産管理 生産管理	①切削油液使用削減 ②刃具磨耗費用削減 ③切削粉砕粉分 ④砥石経費削減 ⑤スラッジ処理見直し ⑥研削カス減 ⑦ペーパーレス ⑧ペーパーレス ⑨包装資材削減 ⑩包装資材等削減	今井 原 田中 末松 森山 永田 原 野田 宮下 古川	(1)27-043-0234-30 洗浄液削減 (2)73-160-0161-10 サイクルタイム短縮 (3)10-178-0217-11 サイクルタイム短縮 (4)仕上げバレル用のメディア変更 (5)スケール取りの加工時間短縮 (6)ストロークマグネットセパレーターへ変更 (7)GC品の検査用紙ペーパーレス化 (8)LS品の検査用紙 電子化、ペーパーレス (9)緩衝材新聞紙のリサイクル (10)包装資材、副資材の購入先変更  評価と今後の方針	実績 / 結果 2023年 廃棄物排出量の削減 (基準 2022年23.61t/億) 		◎
水の排水量の削減 (使用量)  2023年度目標値 2,353t/億 (2%減)	第一製造 第二製造 第二製造 第二製造 第二製造 品質管理 生産管理 生産管理	①節水 ②バレル効率UP ③バレル効率UP ④バレル効率UP ⑤バレル効率UP ⑥節水 ⑦節水	全員 森山 末松 森山 末松 全員 全員	(1)ウエスで油を拭いてから手洗い実施 (2)仕上げ39-023-0720-11 加工時間短縮 (3)仕上げバレル 加工時間短縮 (4)バレル39-031-0695-30加工時間短縮 (5)バレル39-023-0720-11加工時間短縮 (6)節水について意識を持つ (7)ウエスで油を拭いてから手洗い実施  評価と今後の方針	実績 / 結果 2023年 水の排水量の削減 (基準 2022年 2,402t/億) 		◎

環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況 (大桑事業所) 12/18

2023年度目標	取組み計画			活動内容 / 評価(結果と今後の方針)	実績/結果 及び反省点		判定
	目標設定手段	責任者	内容		◎数値(累計)/取組み活動ともに達成、○数値のみ達成、△取組み活動のみ達成 ×数値(累計)/取組み活動共に未達成	実績/結果	
二酸化炭素排出量 249,910kg-CO2/億 (2%減)	第一製造 第一製造 第一製造 第一製造 第二製造 第二製造 品質管理 生産管理 生産管理	①刃具類の見直し ②刃具類の見直し ③加工効率UP ④加工効率UP ⑤加工効率UP ⑥加工効率UP ⑦不良削減 ⑧検査方法の見直し ⑨電気代節約	東 田中 原 東 永田 関 深部 尾前 吉川	(1)前機チップNTR-MCLへ変更 (2)センタードリル購入メーカー変更 (3)加工サイクルタイム見直し (4)加工サイクルタイム見直し (5)切削剤 ピンチアウト物加工方法改善 (6)先端研磨機 押し板寿命延長(押し板コーティング) (7)仕上げバレル付法フィードバックによる方法安定化 (8)治具新機製作により、治具検査へ切り替え (9)現場作業服 黒色(シャツ着用)(空調使用節約)	実績/結果 kg-CO2 億円 2023年 二酸化炭素排出量の削減 (基準 2022年 255.01kg-CO2/億)	◎	
	第一製造 第一製造 第一製造 第一製造 第二製造 第二製造 品質管理 生産管理 生産管理	①刃具類の見直し ②刃具類の見直し ③加工効率UP ④加工効率UP ⑤加工効率UP ⑥加工効率UP ⑦不良削減 ⑧検査方法の見直し ⑨電気代節約	東 田中 原 東 深部 関 深部 尾前 吉川	評価と今後の方針 (1)刃具寿命2割UP ¥37,400減/年 (2)刃具寿命UP ¥27,234減/年 (3)効果金額 ¥928,529減/年 (4)効果金額 ¥110,000減/年 (5)効果金額 ¥63,132減/年 (6)効果金額 ¥180,375減/年 (7)選別作業時間減 1,008分減/年 (8)検査数量UP 16%減/年 (9)電気代、エアコン使用減の効果算出が困難でした	実績/結果 kg-CO2 億円 2023年 化学物質使用量の削減 (基準 2022年6,288/億)	×	
化学物質使用量削減 6.15t (2%減)	第一製造 第二製造 第二製造	①研削油液使用削減 ②研削液濃度 ③バレル添加剤削減	今井 藤原 藤原	(1)27-043-0234-30 洗浄液削減 (2)濃度測定と適切な濃度管理による標準化 (3)メーカーと打ち合わせし、添加剤の選定	実績/効果 kg-CO2 億円 2023年 化学物質使用量の削減 (基準 2022年6,288/億)	◎	
	第一製造 第二製造 第二製造	①切削油液液量削減 ②研削液濃度 ③バレル添加剤削減	今井 藤原 藤原	評価と今後の方針 (1)年間120t減 ¥20,600減 (2)標準化 未処理 次年度へ延期 (3)添加剤の選定 未処理 次年度へ延期	実績/効果 kg-CO2 億円 2023年 化学物質使用量の削減 (基準 2022年6,288/億)	×	

環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況 (大桑事業所) 13/18

2023年度目標	取組み計画			活動内容 / 評価(結果と今後の方針)	実績/結果 及び反省点		判定
	目標設定手段	責任者	内容		◎数値(累計)/取組み活動ともに達成、○数値のみ達成、△取組み活動のみ達成 ×数値(累計)/取組み活動共に未達成、○3S未完了、○定期3S活動実施、×3S活動未	実績/結果	
グリーン購入 31件 (5%UP)	第一製造 第二製造 品質管理 生産管理	①エコ製品の購入	下澤 藤原 清水 田中	①エコ商品、高生品の購入	実績/結果 目標 エコ製品 31件購入 実績 エコ製品 165件購入 (100%以上達成)	◎	
	第一製造 第一製造 第二製造 第二製造 品質管理 品質管理 生産管理 生産管理	①加工方法見直し ②測定方法見直し ③加工方法見直し ④機械故障低減 ⑤測定方法見直し ⑥保管方法見直し ⑦生産管理方法見直し ⑧生産管理方法見直し	勝野 田中 森山 奈良 丹谷 深部 吉川 吉川	評価と今後の方針 (1)穴ハリ取り加工頻を変更 42h減/年 (2)測定時間短縮 505h減/年 (3)選別機の選別時間短縮 600h減/年 (4)加工数量 6,000個→8,000個 33%UP (5)測定時間短縮 12h減/年 (6)保管時間短縮 44h減/年 (7)処理時間短縮 4h減/年 (8)送り状の発行の待ち時間が解消した	実績/結果 改善目標 件数 162件/年 改善件数 151件/年 (93%達成)	△	
製品、サービスに関する環境配慮 162件 年2件/人 (81人)	第一製造 第一製造 第二製造 第二製造 品質管理 品質管理 生産管理 生産管理	①加工方法見直し ②測定方法見直し ③加工方法見直し ④機械故障低減 ⑤測定方法見直し ⑥保管方法見直し ⑦生産管理方法見直し ⑧生産管理方法見直し	勝野 田中 森山 奈良 丹谷 深部 吉川 吉川	評価と今後の方針 (1)穴ハリ取り加工頻を変更 42h減/年 (2)測定時間短縮 505h減/年 (3)選別機の選別時間短縮 600h減/年 (4)加工数量 6,000個→8,000個 33%UP (5)測定時間短縮 12h減/年 (6)保管時間短縮 44h減/年 (7)処理時間短縮 4h減/年 (8)送り状の発行の待ち時間が解消した	実績/結果 改善目標 件数 162件/年 改善件数 151件/年 (93%達成)	△	
	第一製造 第一製造 第二製造 第二製造 品質管理 品質管理 生産管理 生産管理	①加工方法見直し ②測定方法見直し ③加工方法見直し ④機械故障低減 ⑤測定方法見直し ⑥保管方法見直し ⑦生産管理方法見直し ⑧生産管理方法見直し	勝野 田中 森山 奈良 丹谷 深部 吉川 吉川	評価と今後の方針 (1)穴ハリ取り加工頻を変更 42h減/年 (2)測定時間短縮 505h減/年 (3)選別機の選別時間短縮 600h減/年 (4)加工数量 6,000個→8,000個 33%UP (5)測定時間短縮 12h減/年 (6)保管時間短縮 44h減/年 (7)処理時間短縮 4h減/年 (8)送り状の発行の待ち時間が解消した	実績/結果 改善目標 件数 162件/年 改善件数 151件/年 (93%達成)	△	
3S活 (整理、整頓、清掃) 1回/2ヶ月 ハトロールチェック実施	第一製造 第二製造 品質管理 生産管理	①職、机上等整理整頓	藤原 末広 武部 下村	①ビンゲージ、ドリル、ゲージ収納ケース設置 ②事務用品入れBOX設置 ③書庫へ搬送機(投入れ)を積み上げていた ④受人、出荷場所のレイアウト変更	実績/結果 各工程3S改善が進んでいる	◎	
	第一製造 第二製造 品質管理 生産管理	①職、机上等整理整頓	藤原 末広 武部 下村	評価と今後の方針 (1)取組内容表示により、課す機能が短縮できた (2)在庫が削減でき、より簡易な在庫管理が可能となった (3)書庫の整理整頓ができ書類管理が明確となった (4)コンテナ、パレットの積み下ろしがスムーズに作業できる	実績/結果 2回/月の3S/ハトロールチェックにおいて 赤札が改善されていない工程が一部ある	○	



次年度環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況（大桑事業所） 14/18

2024年度目標	取組み計画		活動内容 / 評価(結果と今後の方針)	実績/結果		判定
	目標設定手段	責任者		実績/結果	及び反省点	
廃棄物排出量の削減  2022年度実績 23.61t/億  2024年度目標値 22.67t/億 (4%減)	第一製造 第一製造 第一製造 第二製造 第二製造 品質管理 品質管理 生産管理 生産管理	①切削油・廃液使用軽減 ②刃具類経費削減 ③切削屑処分 ④珪石経費削減 ⑤スラッジ処理見直し ⑥ペーパーレス ⑦ペーパーレス ⑧包装資材削減 ⑨包装資材削減	下澤 下澤 下澤 藤懸 藤懸 清水 清水 田中 田中	①各メーカー調査実施 ②刃具寿命調査 グラフ化 ③圧縮機検討 ④珪石検討 ⑤マグネットセパレーター設置 ⑥品質文書 電子文書化 ⑦品質文書 電子文書化 ⑧包装資材見直し ⑨包装資材見直し	実績/結果 廃棄物t/億円 2024年 廃棄物排出量の削減(基準 2022年23.61t/億) 目標22.67t/億 4%減 → 実績	
評価と今後の方針				反省点	取り組みの見直しと次年度への取り組み	
水の排水量の削減 (使用量)  2022年度実績 2,402t/億  2024年度目標値 2,305t/億 (4%減)	第一製造 第二製造 第二製造 品質管理 生産管理	①節水 ②バレル効率UP ③バレル洗浄方法見直し ④節水 ⑤節水	下澤 藤懸 原 清水 田中	①手洗いにおける節水 ②加工時間の見直し調査改善 ③バレル洗浄方法の調査と処理方法改善 ④手洗い等の節水 ⑤手洗い等の節水	実績/結果 水t/億円 2024年 水の排水量の削減(基準 2022年2,402t/億) 目標2,305t/億 4%減 → 実績	
評価と今後の方針				反省点	取り組みの見直しと次年度への取り組み	

次年度環境経営目標の達成状況及び環境経営計画の実施状況（大桑事業所） 15/18

2024年度目標	取組み計画		活動内容 / 評価(結果と今後の方針)	実績/結果		判定
	目標設定手段	責任者		実績/結果	及び反省点	
二酸化炭素排出量  2022年度実績 255,011Kg-CO2/億  2024年度目標値 248,010Kg-CO2/億 (4%減)	第一製造 第二製造 第二製造 品質管理 生産管理	①刃具類の見直し ②加工効率UP ③加工効率UP ④不良削減 ④検査方法見直し	下澤 下澤 藤懸 清水 田中	①メーカーと打ち合わせし、刃具類選定 ②加工サイクルタイム見直し ②工程別加工方法見直し ③社内不良発生防止、過去の確認と対策標準化 ④外観検査改善実施	実績/結果 Kg-CO2/億円 2024年 二酸化炭素排出量の削減(基準 2022年255,011Kg-CO2/億) 目標 248,010Kg-CO2/億 4%減 → 実績	
評価と今後の方針				反省点	取り組みの見直しと次年度への取り組み	
化学物質使用量削減  2022年度実績 6.28t/億  2024年度目標値 6.02t/億 (4%減)	第一製造 第二製造 第二製造 第二製造 第二製造 全社	①切削油・液使用軽減 ②研削液濃度 ③バレル添加剤削減 ④洗浄油の使用方 ⑤廃油の再生	下澤 藤懸 原 黒田 全員	①各メーカー調査実施 ②濃度調査と適切な濃度管理による標準化 ③メーカーと打ち合わせし、添加剤の選定 ④洗浄方法の見直し改善 ⑤廃油処理における再生の検討	実績/効果 化学物質t/億円 2024年 化学物質使用量の削減(基準 2022年6.28t/億) 目標6.02t/億 4%減 → 実績	
評価と今後の方針				反省点	取り組みの見直しと次年度への取り組み	



2024年度目標	取組み計画			活動内容／評価（結果と今後の方針）	◎数値（累計）／取組み活動：ともに達成、○数値のみ達成、△取組み活動のみ達成、×数値（累計）／取組み活動：共に未達成（◎3S手順完了、○定期3S活動実施、×3S活動無）		判定
	目標設定手段	内容	責任者		実績／結果	及び反省点	
グリーン購入 2023年度実績 165件 2024年度目標値 173件 (5%UP)	第一製造 第二製造 品質管理 生産管理	①エコ製品の購入 " " "	下澤 藤懸 清水 田中	①エコ製品の購入 エコ製品の調査と開示により購入を促進する  評価と今後の方針、反省点	実績／結果 目標 エコ製品 173件購入 実績 エコ製品 件購入		
製品、サービスに関する環境配慮 2023年度実績 151件 2024年度目標値 160件  年2件/1人 (80人)	第一製造 第二製造 品質管理 生産管理	①加工方法の見直し ②加工方法の見直し ③測定方法見直し ④生産管理方法見直し	下澤 藤懸 清水 田中	①加工方法、作業方法の効率UP簡素化 ②加工方法、作業方法の効率UP簡素化 ③測定器及び測定結果の管理方法改善 ④生産管理に関連する処理方法を改善する  評価と今後の方針	実績／結果 改善目標 件数 160件/年  改善件数  反省点  取り組みの見直しと次年度への取り組み		
3S法 (整理、整頓、清掃) 1回/2ヶ月 パトロールチェック実施	第一製造 第二製造 品質管理 生産管理	①廊、机上整理等整頓 " " "	下澤 藤懸 清水 田中	①パトロールチェックの結果の対策及び部署内で改善実施  評価と今後の方針	実績／結果 パトロールチェック実施  反省点  取り組みの見直しと次年度への取り組み		

### 9. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社に適用される環境関連法規は、下記の通りです。

環境関連法規への遵守状況のチェック表（全体）（2024年3月30日現在）

分類	名称	該当要求事項	対象施設・項目	違反事項
水質	下水道法 水質汚濁防止法 浄化槽法	・特定施設の届出 ・排水基準の遵守 ・水質測定・記録 ・その他	・酸、アルカリによる表面処理	無し
廃棄物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律  フロン排出抑制法  水銀廃棄物による環境の汚染防止に関する法律	・産業廃棄物業者の認定許可証の保管 ・産業廃棄物マニフェストの管理 ・産業廃棄物業者の処理状況を現地確認、又は写真等にて入手する(年/1回) ・第一種特定製品を四半期に一回簡易点検を要する ・有資格者による定期点検 空調機器 / 5kW以上 / 10/年以上 20kW以上 / 10/年以上 フロン類算定漏洩量の報告 (漏洩量 1000t-GO2 以上) ・その他  ・産業廃棄物の保管等の表示	・金属くず ・廃液 ・汚泥 ・炭プラスチック ・記録 エアコンプレッサー チラー ・その他	無し
化学物質	毒物及び劇物取締法	・盗難/漏洩防止 ・容積の表示 ・保管施設への表示	・希硫酸 ・塩酸	無し
	PRTR法	・年1人以上、従業員25名以上、金属加工業の3つの条件を満たす場合		無し
	消防法	・危険物貯蔵所、取扱所設置の届出 ・危険物取扱い監督者の監督下での取扱い	・貯蔵所 ・第4類第2石油類 ・第4類第3石油類 ・第4類第4石油類	無し
	労働安全衛生法	・特定化学物質の取扱いの掲示 ・その他	・液化アンモニア ・コンパウンド(GPP) ・消石灰	無し
循環型社会	循環型社会形成推進基本法	・グリーン購入の推進 ・その他	・事務用品	無し
騒音、振動	騒音規制法 振動規制法	・届出 ・騒音、振動基準の遵守	・空気圧縮機	無し
その他	自動車リサイクル法  工場立地法 その他	・車検又は買い替え時 ・リサイクル料の支払い ・緑化0.5% ・その他	・社有車 ・報告等	無し

#### 違反、訴訟の有無

環境関連法規について、環境管理責任者が中心となり法規の遵守状況についてチェックを行い確認しました。その結果、大桑事業所は認証取得して以来19年間において違反はない。同じく本社においても、認証取得して以来13年間、町田工場7年間、現在違反等の問題は無い。又、本社、町田工場、大桑事業所において関係行政機関、近隣住民、顧客からの指摘、苦情及び訴訟は1件もありません。



## 10. 代表者による全体の取り組み状況の評価と見直し・指示の結果

- ・環境経営方針 改訂なし
- ・環境経営目標及び環境経営計画

### <指示の結果>

改善できない事にチャレンジするについて、改善で困っていることもチャレンジ出来効果が得られた

**〔指示の結果〕 2023年 改善件数 本社 114件、町田工場 60件、大桑事業所 151件  
合計 325件**

### <評価>

エコアクション21の活動により、節約・節減した結果が利益となり  
改善活動を行えば、会社は発展できます。

### <見直し>

廃棄物を少なくする改善を考える。ゴミ、段ボールを減らせば効果が出る。これを行わないと利益が減ってしまいます。調子が悪い所は直ぐに修理する事。チョコ停は品質が損なわれます。これで良いと言うことはない、常に改善して生産性を上げてください。

以上